

## 第28期第8回常任理事会議事録

日時：1995年4月20日 13時30分～17時50分

場所：気象庁内日本気象学会事務局

出席者：松野，関口，磯部，大西，小倉，斉藤，里村，  
田中，永田，中村，新田 以上11名

議事：

1. 第28期第7回常任理事会議事録の確認  
一部修正のうえ承認。

2. 各委員会からの報告及び審議

庶務…後援名義等使用許可2件

研究成果発表会後援(日産科学振興財団主催，  
95年7月，東京都)

極域気候変動に関する和達国際会議後援(ア  
ラスカ大学地球物理学研究所・筑波大学等主  
催，95年11月，つくば市)

- ・学会事務局のパソコン1台を買い換えた  
(NEC 9821 Xe)

天気…4月号の内容及び5，6，7月号の予定を報  
告。

- ・和達氏追悼特集原稿は2名を残して集まっ  
た。7月号に掲載予定。

気象集誌…TOGA-COARE 特別号は著者校正中。  
6月初旬以前に発行できそう。

- ・HEIFE 特集号は原稿締め切り，15編程度集  
まりレビュー中。
- ・集誌の編集権を ELSEVIER に移管する件  
で，相手側から新しい提案があった。団体・  
特別会員価格で譲歩した提案であるが，まだ  
現行より高い。気象学会として国外の販売  
ルートの拡大や外国研究者からの投稿の増加  
などのメリットもあるので，急がず引き続き  
交渉を続ける。

研究ノート…印刷業者が変わったので，業者と2回  
打ち合わせを行った。単価の若干の上昇にな  
るが，用紙をクリーム色にするなどの質の向  
上を図りたい。

講演企画…連名の大会発表が増えているために，『天  
気』に掲載するプログラムの文字数が増加し，  
字が小さくなってきた。今後は，第一著者と  
発表者のみを掲載することを検討している。

- ・一会員から大会の研究発表での質疑応答を有  
意義に運営してほしいとの希望が学会によせ  
られた。常任理事会としても議論を行い，こ

の件に関連して講演企画委員会が座長の役割  
の再確認等についてとった措置を了承した。

教育と普及…今年の夏季大学は3日間通して同一会  
場を確保できなかったため，初日と2，3日  
目で会場を移す変則的な運営になる。

国際学術交流…4月11日に前期の委員会を開催して  
審議した結果，7名の応募者全員に補助金を  
支給することを決めた。締め切り後に応募が  
あった数件については審査の対象としなかつ  
た。これに関連して，現在の締め切り期限は  
早すぎるので，前期は3月15日，後期は9月  
15日締め切りに改めることにした。

- ・95年11月に開催される「和達国際会議」に15  
万円の補助を行うことを決定した。

各賞…民間財団等の研究表彰・研究助成に対する気  
象学会の推薦活動を強化する必要があるとの  
理事会での議論を受け，様々な民間団体の研  
究表彰・研究助成制度について一覧表を作成  
した。とりあえずこれを『天気』に掲載する  
とともに全理事に送付し，受賞候補者を推薦  
してもらうことにした。推薦が集まったとこ  
ろで学会賞と藤原賞の担当理事に協力しても  
らい，具体的な推薦活動を行いたい。

パソコン通信…3月のアクセス回数383回。

その他…第10回大気電気国際会議について北大の菊  
地先生と話し合い，気象学会としては「協賛」  
よりも「共催」とする程度の深い関連がある  
行事と認識していると述べたとの報告が理事  
長からあった。常任理事会としてこの会議へ  
の補助金支出の可能性について議論し，  
IAMAP への気象学会の補助金支出とのバラ  
ンスを考慮して，数十万円が上限との認識で  
一致した。

- ・(田中理事) 4月18日に地球惑星関連学会連絡  
会が開催された。3月に開催された合同大会  
には1300人以上の参加があった等が報告され  
た。連絡会の事務局を設置する件が討議され，  
当面の運用資金はすでに基金の形で確保して  
あるため，とりあえず1名の専従体制で事務  
局を発足させることが了承された。気象学会  
からの支出の必要はない。今後の事務局維持  
については，別の機会に議論することになっ

た。関連学会合同の欧文機関誌を創刊する件は消極的な意見が多かった。

- ・(里村理事)先に「研究ネットワーク連合委員会」に加盟申請し、同委員会幹事会で承認されていたが、5月23日に日本教育会館で総会を開催するとの通知があった。気象学会の正式加盟は総会で承認される予定。

3. 会員の新規加入等について

個人27名、団体1の入会を承認。個人6名、団体2の退会を報告。

4. 一部理事の辞任および後任理事候補の推薦についての投票結果について

27理事のうち24理事から投票があり、過半数の承認があったため、佐野昭、滝川雄壮両理事の辞任が承認され、加藤一靖、中山嵩両会員を後任の理事候補として総会に提案することも了承された。

5. 弔事に関する学会内規の改正について

【天気】に訃報を掲載する範囲の明確化等について庶務担当理事が手直した改正案について討議。原案通り承認され、即日施行した。

6. 委員の交代について

天気編集委員会と講演企画委員会から申し出のあった委員の交代を常任理事会として了承。

7. 第28期第3回理事会に提出する議題について

○春季大会、秋季大会の担当機関の決定について、  
○常任理事の交代について、○名誉会員の推薦基準および手順について、○「気象科学事典」の企画に

対する対応方針について、○学会賞における連名論文の評価基準について、の各テーマについては、庶務担当理事の提案通りの審議方針のもとに議題として取り上げることが了承された。

「地球惑星関連学会連絡会への対処方針について」を理事会で議論することについては、短時間では実りある討議は難しいと思われるので、問題提起程度にとどめることとする。これとは別に、流体地球関連の諸学会との連携をどうしていくかの問題は、21世紀の気象学会のありかたに関係する重要課題であり、総合計画担当理事を中心に、若手の学会員を主体とした。しかるべき場で議論してもらうこととする。

8. 1994年度事業報告及び決算報告について

事業報告は若干の修正を行う。決算報告は了承された。4月14日に行われた監査結果の報告についても討議し、95年度事業計画に反映できるものは取り入れていくことを了承した。

会費収入、管理費支出の配分まで考慮した部門別収支計算が参考資料として示され、【気象集誌】の発行は赤字であり、【天気】の発行は赤字、大会開催費等も赤字であることが説明された。これに関連して、学会の収入・支出のありかたについて若干の議論があった。

9. 1995年度事業計画及び予算案について

一部の字句修正を加えたうえで理事会および総会に諮ることを了承。

## 秋季大会申込用紙の訂正

「天気」5月号の末尾に挿入された秋季大会の申込用紙に誤りがありましたので、以下の通り訂正します。

### 記

「申込方法」のうち、左段の下から3行目「申し込

む場合には…」を、「口頭発表とポスターの両方に申し込む場合には……」に訂正します。

申込用紙裏面「キーワードについて」のうち、右段最下行のスペシャル・セッション……の項を削除します。